

予 算 要 求 資 料

令和4年度当初予算 支出科目 款：商工費 項：観光費 目：観光開発費

事業名 世界に誇る遺産等海外誘客プロモーション事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

商工労働部 海外戦略推進課 海外誘客係 電話番号：058-272-1111 (内 2355)

E-mail : c11336@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 24,000 千円 (前年度予算額：24,000 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	24,000	6,000	0	0	0	0	0	0	18,000
要求額	24,000	6,000	0	0	0	0	0	0	18,000
決定額	24,000	6,000	0	0	0	0	0	0	18,000

2 要求内容

(1) 要求の趣旨 (現状と課題)

白川郷や地歌舞伎等、海外でも認知度の高い県内の「世界に誇る遺産」と周辺観光資源を結びつけたルートを海外に向けてPRすることで、外国人観光客の県内周遊を促進し、消費拡大を図る。

(2) 事業内容

白川郷等の世界遺産や、杉原千畝記念館をはじめとする県内観光資源のPRのため、北米最大のマーケットである米国、伝統文化や食に関心の高い欧州諸国、自然アクティビティを好む豪州等を対象に、旅行博・商談会への出展、セミナー・レセプションの開催、旅行会社との連携プロモーション等を実施し、海外からの誘客促進を図る。合わせて、魅力ある本県の観光資源を紹介する英語版パンフレットを制作し、プロモーションに活用する。

(3) 県負担・補助率の考え方

外国人観光客の誘致による観光産業の振興、県経済の活性化は県が率先して実施すべきものであり、県負担は妥当。

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
報償費	42	プロポーザル評価会議
旅費	1,750	渡航費
委託料	22,150	旅行博出展及び商談会参加、旅行会社連携プロモーション 地歌舞伎出張公演、PR用パンフ（英語）制作 等
役務費	58	郵送費
合計	24,000	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

- ・「清流の国ぎふ」創生総合戦略
 - 3 地域にあふれる魅力と活力づくり
 - (2)次世代を見据えた産業の振興
 - ④観光産業の基幹産業化
- ・岐阜県成長・雇用戦略
 - 8 最重要プロジェクト・重要プロジェクト
 - (6) 観光産業の基幹産業化プロジェクト
 - ・外国人観光客倍増プロジェクト

(2) 国・他県の状況

- ・他都道府県においても同様の海外誘客事業を実施しており、県が事業予算を負担。

(3) 後年度の財政負担

- ・次年度以降も継続して実施する。

(4) 事業主体及びその妥当性

- ・外国人観光客の誘致は、総合戦略でも位置づけた県の役割であり、事業費を負担することは妥当。

事業評価調書（県単独補助金除く）

<input type="checkbox"/>	新規要求事業
<input checked="" type="checkbox"/>	継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

世界に誇る遺産を核に、欧米豪をターゲットとした海外誘客を継続的かつ着実に推進し、本県の認知度を向上させることで、本県を訪問する外国人観光客の増加につなげる。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R)	R2年度 実績	R3年度 目標	R4年度 目標	終期目標 (R7)	達成率
① 外国人延べ宿泊者数		29万人	50万人	70万人	180万人	16.1%
②						%

○指標を設定することができない場合の理由

（これまでの取組内容と成果）

令和2年度	米国のユダヤ系メディアと連携し、杉原千畝関連施設をはじめとする本県の観光資源をPR。本PRにより、アフターコロナにおいて、米国からの送客が期待されるとともに、現地における、本県の認知度向上に繋がった。
令和3年度	指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___%
令和4年度	指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___%

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<p>・ 事業の必要性（社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断） <small>3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない</small></p>	
(評価) 3	<p>世界遺産登録を契機に、遺産等の観光資源を活用して海外PRを行うことは時宜にかなったものであり、本県の認知度向上、外国人観光客の誘客拡大のため、必要な取組みである。</p>
<p>・ 事業の有効性（指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか） <small>3：期待以上の成果あり 2：期待どおりの成果あり 1：期待どおりの成果が得られていない 0：ほとんど成果が得られていない</small></p>	
(評価) —	<p>新型コロナウイルス感染症の感染拡大により海外との往来が制限されているため、指標等の状況から精緻な評価ができない。</p>
<p>・ 事業の効率性（事業の実施方法の効率化は図られているか） <small>2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている</small></p>	
(評価) 2	<p>県産品や農産物などを所管する他部局とも連携してPRを行うことにより、効率的に事業を実施している。</p>

(今後の課題)

<p>本県の認知度向上及び外国人観光客の増加を図るには、一過性ではなく、継続かつ地道な取組みが必要である。</p>

(次年度の方向性)

<p>海外からの誘客は、継続的な取組みが大切であり、実施状況を勘案しつつ、より効果的な手法でPRを行っていく。</p>

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

<p>組み合わせ予定のイベント又は事業名及び所管課</p>	
<p>組み合わせて実施する理由や期待する効果 など</p>	